

天童市の県青年の家がコーディネートするボランティアサークル「nico こえ」が、同青年の家に隣接するグリーンモール天童商店街（通称・グモ天）の菓子店「菓子司 大坂屋」とコ

ラボし、レモンを使った菓子「もちこ」を開発した。14日に同市総合福祉センターで開かれる「いきいき・ふれあい健康福祉まつり」でデビューする。

## 天童 ボランティア団体、地元菓子店とコラボ

# レモン菓子誕生

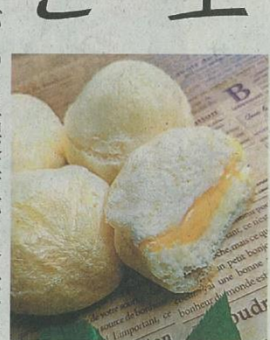
## 名は「もちこ」



大坂屋の佐藤栄一店主（右）の協力で商品開発を進めた「nico こえ」メンバー  
＝天童市（県青年の家提供）

### 小児がん治療支援 × 商店街活性化

「nico こえ」は今、支援金を集める「山形レモ年3月から、レモネードをネードスタンドプロジェクト販売し、小児がん治療へのト」を展開している。メン



「nico こえ」と大坂屋によるコラボ商品「もちこ」。自家製クリームとレモンクリームの2層スタイルが特徴だ（県青年の家提供）

バーのうち高校生有志5人が、レモンを活用してグモ天の活性化を図ろうと新たなプロジェクトを立ち上げ、啓開発に取り組んだ。プロジェクト名は、小児がん治療支援とグモ天活性化との虹の架け橋になりたいという思いから「Lemon」と「Rainbow」をかけ合わせ「レモン・レモンで元気！ Lemonbowプロジェクト」とした。

新商品「もちこ」は、大坂屋の看板商品「もちもちシュー」がベースで、中に入っている大坂屋の自家製クリームに、プロジェクトメンバー提案のレモンクリームを上乗せした。自家製クリームとレモンクリームを混ぜ合わせる案もあった。

「もちこ」の名称は「もちもちシュー」と「nico こえ」をかけた。1個当たり120円で、うち20円を小児がん治療支援のために寄付する。14日の健康福祉まつりで約200個を販売するほか、オレンジリボンフェスタ（22日、東根市）と「SDGs MARCHE」（11月3日、山形市）でも販売予定。各会場では、レモネードスタンドも開催する。

プロジェクトリーダーで山辺高2年の大石環虹さん（16）は「メンバーみんな考え、満足のいく出来になった。ぜひ多くの皆さんに食べてもらいたい」と話した。（落合慶）

「山形新聞 2023年10月12日（木）より」 山形新聞社提供